

# 道標ない旅

～「自立」と「共生」を目指して～

令和元年7月9日(第12号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 前号で教育相談の仕組みをお伝えしましたが、相談事があれば、まずは学校にご相談下さい。 ◆◆

◆◆ 夏の大会情報 第2弾 ◆◆

○サッカー部 県中学校サッカー大会横須賀ブロック大会  
7月6日 リーフスタジアム

前半で2点差をつけられたものの、後半はチーム一丸となってゲームプランを実行し、1点を返し、返子開成中を追い詰めた。時間が足りず惜しくも惜敗しました。

南郷中 1 Vs 2 返子開成中 で敗退



○バドミントン部 (団体戦) 中総合横須賀ブロック大会 横須賀アリーナ

男子 1回戦は 2-1で久木中学校に逆転の勝利。  
2回戦は 0-2で神明中学校に敗退。

女子 1回戦は 2-1で追浜中学校に勝利。  
2回戦は 1-2で神明中学校に惜しくも敗れました。



○バスケットボール部 中総合横須賀ブロック大会

7月6日 横須賀アリーナ

女子 神明中学校と接戦しながらも45 Vs 57で敗退

7月7日 南アリーナ

男子 昨年度県大会目前にして1点差に敗れた浦賀中学校との対戦。第1・第2・第3クォーターまで、常に10点差ほどつけて有利に戦いを進めていましたが、5点差で始まった第4クォーター、こちらの主力選手2名が相次いで故障離脱する中、じりじりと追いつかれ、逆転のゴールを許し、またも36 Vs 37の1点差で敗れました。



試合結果にはそれぞれ悔しい思いはあると思いますが、部活動に3年間努力してきた3年生たちの頑張る姿は、後輩にもしっかりと伝わったと思います。この試合をもって引退する3年生たちの努力をたたえたいと思います。

◆◆ 7月6日(土)に開催された南郷中学校教育懇話会の様子を紹介します。 ◆◆

学校を取り巻く教育課題について、協議していきましょうという趣旨で開かれた7月の懇話会。その主たるテーマは、「学校の安全」と「コミュニティスクール」です。どんな話題が出たか紹介していきます。である調で基本そろえましたがご容赦下さい。

○長柄橋から、長柄下を通り抜けていく道が重要。通学路という表示がない中、自動車は多い。風早橋あたりのT字路から永楽屋までは、道が細くなる中、タクシーなどの抜け道に使われいつかは事故が起こっても不思議のない状況である。電柱等を効果的に使った効果的な表示がほしい。子どもの安全をより図ってほしい。子供たちはやむなく自転車を使うが、保険料の問題があるなら、町が出してもいいと思うくらいだ。遠くから通っている生徒たちのことを考えてほしいと思う。

○同じ場所の問題点は、一方通行に指定される時間帯があるのに、それが守られていない実情もある。警察の方の協力で、夏場以外でもパトロール等で目を光らせてくださるとありがたい。(川久保での指定時間帯の一方通行は、かなり効果を上げている。)警察のご協力があると守られる。長柄下地域も同様に向上してほしいと思う。

○南郷中が自転車保険加入の呼びかけに取り組んでいることは、大変良いことだと考える。保険は被害者としての保険面もあるが、加害者となってしまったときの損害賠償の面からが重要だと思う。事実として、当初3台走っていたバスが、7時台と8時台の2台に減ったことや、下校時もバスに左右されず帰れる自転車通学の方が利便性で選ばれるのは理にかなっている。女生徒の自転車通学者も格段に増えたように感じる。幼児を乗せた3人乗りのお母さんや、高齢者の自転車を見かけるにつれ危険を感じている。加入の呼びかけは、学校だけの課題ではなく、地域としても呼びかけていかねばならない問題だと認識している。

○1億円近い損害賠償請求も出ており、自動車保険と同じように加入は意識の上でもやがて必須になっていくだろうと思う。

- 長柄小で、子どもから寄せられた不審者情報を元に警察に連絡を取り、緊急体制を構築したことがあった。事実は「児童が登校途中転んでケガをしたとき、知り合いのおじさんが母親に連絡を取ろうと声かけていたこと」と分かり、事なきを得た。その際、事実の確認より警察にいち早く情報提供しパトロール体制を築いたことが良かったのか尋ねたところ、「教頭先生がそんなことで揺らいではダメ、すぐに連絡した姿勢で良い」と伝えられた。先生方にもそのことを伝えた。子供たちも自分たちの力で町を守ろうとしている。その態度を大切に育て、自信をつけさせてほしいとのことだった。長柄小にもこの件で、疑問を寄せられることはなく、別件で、見守りをして下さる方に、失礼な態度や、いたずらしているという情報が児童から寄せられ、その旨をその方に伝えたら、「よく知った子で、ふざけてそういったこともする子だが、学校の姿勢への感謝と協力をする。」と伝えて下さるケースが起こった。そのほかは、子供たちから、やみくもな情報は来ないで済んでいるし、子供たちはこの町を守っていこうと努めているように感じる。
- シンデレラ階段を通ったときに、薄暗さを感じたり、この通り道1本だけでは不安を感じたりした。作業中なのか、階段下部では「危険」、「危険」という立て看板ばかりで不安を感じた。子供たちに聞くとなれてしまったと言うが、親としては危なっかしい通学路だと感じた。  
→シンデレラ階段は公道？→町道である。→公道なんだ。→崩れているところは両側が民地で、有効な手立ては取れないそうだ。→街灯を増やすことはできるのでは？→街灯が切れていない限り、必要な明るさを担保する街灯は設置されていると思う。→葉山ステーションができたりにして明るくなってきたが、南郷中への歩道も暗く感じた時期があった。→日の出園に上がる階段の方は案外明るい。→防犯カメラ設置が有効な手立てと考えるが、文部科学省の調査があったにも関わらず、その話が立ち消えになってしまっている。
- 明るい時間帯であっても、町内の人通りがほとんどない道があり、安心できない面がある。小・中学生が被害に遭う時間帯は、案外明るい時間帯が多いと感じている。明るさが油断に繋がらないよう、児童生徒へは指導していく必要があると思う。警察のパトロールもよく見かけて、安心に繋がってはいるが、夏休み前、学校でも声かけしてほしい。
- ブレーキのついていないストライダーで、自分自身がヒヤリとした経験があった。→自分のところでは私道の範囲外に出ないように近所で協力して指導して事故を防いでいる。しかしどこでもそうだと感じていない。親の意識が大切で、鎌倉駅前などで親子連れの児童が使用しているのを見かけるが、観光客などに迷惑をかけているなど感じる。→幼稚園の頃からの指導かな？→小学校あたりからは指導しきれない親御さんも多いのだろう。→中学校世代はスケボーが注意したいところ。葉小前あたりから逗子駅まで車に併走して使っている子を見かける。(ガヤガヤとあちこちでこの話題が上がる。ケースは多そうに感じた。)
- 防災頭巾は何故中学校で使わないのかと思う。→小学校までは確実に持っているもので、南郷中の職員会議の話題にしてみたい。→葉山中学校でも話題に出た。中学校で使わないので、進学を機に処分するご家庭があり、揃わないことがネックになっていて有効策を見つけられなかった。→小中連携で上手く乗り越えたい。→反対する親はいないと思う。→中学は移動教室が多いが持つて行くことになるのだろうか？→実施する場合はそうなると思う。→ヘルメットという手もあると思う。自転車通学とのマッチングも良いのでは？→値段もあるし、ヘルメットは荷物の多い中学生には扱いが悪い様に聞いている。
- 避難訓練の様子も違って、葉山中では避難は小走りになり、校庭では走っている。そのスタイルで考えると、ヘルメットの保管場所が大きな鍵になる。防災頭巾の方が扱いがよいように感じる。→3年計画で考えれば、きちんと備える体制に移行することは可能だと思う。→先生やPTAと相談してほしい。
- 「心の安全」面で、いじめ案件における先生方の発言が注目を集める時代になっていると感じているが、先生方の発言等に関する、研修ってあるのだろうか。→管理職の立場からいけば、その先生の個性で指導されている中、言葉かけを工夫した方がいいのではと思うケースもある。学校が若返り若い先生方の資質を高めるためにも研修は必要だと思う。生徒については、学校全体や学年全体という枠組みがあるとき、南郷中の生徒が発揮する力(優しさ、思いやり、マナーや礼儀)は、素晴らしいものがある。その上で、個々の生徒のありようをつぶさに見ていくと、相手が嫌がる言葉かけなどをする生徒が散在するのも事実なので、そこが残念なところである。それで傷ついている仲間がいるのは残念。  
→研修については、教育委員会が音頭を取って実施した方がいいだろう。→言葉かけについては人権問題につながるもので、人権研修を6校が2校ずつ担当校になり、3年サイクルになるよう毎年人権研修を葉山町の学校では行っている。人権意識が涵養されるよう、これからも努めていきたい。
- 長柄小学校PTAではLINEから講師を招き、マナーやルールやコミュニケーションツールとしての価値が高まるよう、保護者向け研修を開催する。保護者が使い方理解する必要があると考えている。→町の広報「はやま」の5月号にも関連記事が載っている。→スマホやケータイを認めているのか？→学習に不必要なものは持ち込み禁止が基本。教室には持ち込めない。必要に応じて預かって対応している。
- コミュニティスクールの概括的な説明はプレゼンの通り(※別号で簡単に紹介する予定)。教育委員会と連携して、教職員や保護者。地域の方々にどんどん理解して頂けるように、研修等で理解を広げていこうと思うので今後ともよろしく願い申し上げます。(一緒に勉強していきましょう)  
→外部講師がお手伝いしてくれるとき、それは年間を通じた教えになるのか、スポット的なお手伝いになるのか。→基本的にはスポット的な指導になると考えているが、地域でやっていきたい構想次第の部分もある。

★こうやって何かのテーマについて話し合うということは有意義だなと感じました。これからも続けていきたいと強く感じました。協議に参加していただいた皆様に心より感謝申し上げます。